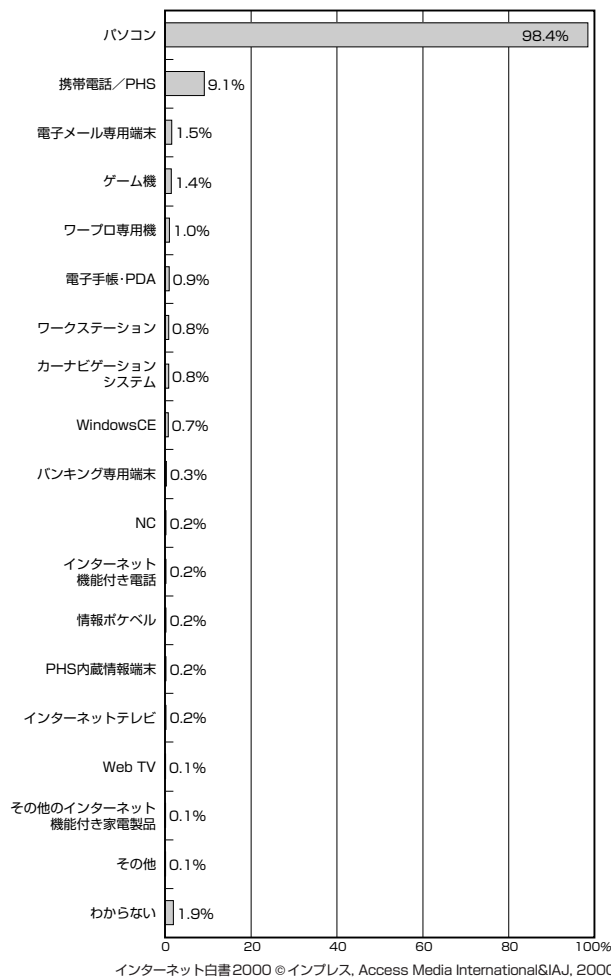
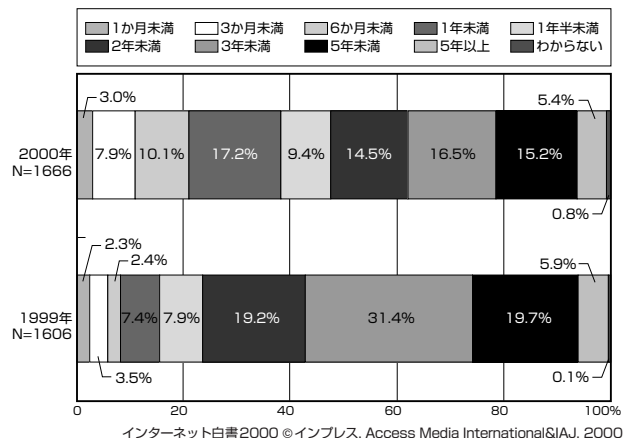


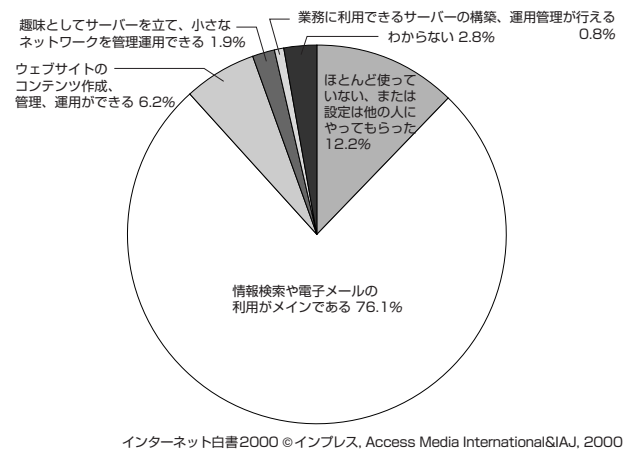
資料 1-2-41 インターネット利用機器（複数回答） N=1666



資料 1-2-42 インターネット利用歴（1999年-2000年）



資料 1-2-43 インターネット利用スキル N=1666



解説

家庭内に限定せずインターネットを利用する機器を全て聞いたところ、例年通りパソコンが圧倒的に高い状況は変わらないものの、2位の「携帯電話/PHS」が9.1%と昨年の2.4%から4倍近く伸びた。3位のポケットボード等の「電子メール専用端末」も1.5%と昨年の0.5%を上回っている。いずれも1998年から1999年に急速に市場が拡大した製品であるが、現状のインターネット関連サービスのほとんどはパソコンでの利用を前提として考えられており、それらを快適に利用するためにはパソコンが最も適していることは揺るがない。パソコンを想定したサービスを携帯電話/PHSで利用した場合、表示サイズや入力などに問題があることは否めない。しかし、それらの問題が苦にならないモバイル環境での利用に非常に適した使い勝手の良いサービスが今後どれだけ登場するかによって、携帯電話や専用端末を接続機器とした

インターネット利用の伸びが期待できる。また、それらを実現するサービスや機器などの登場がパソコンとの明確な使い分けのキープポイントとして考えられ、それが利用者にメリットとして伝われば、インターネットの新たなサービス展開の一部として大きく発展することは間違いなさだろう。

インターネットの利用歴は今年最も調査結果に影響を及ぼした。昨年までにも徐々に増加してきたエントリー層（「1年未満」とする）が全体の38.2%を占め、昨年の約2.5倍となったためである。プロフィール的にみるとやや女性が多く、年代では50代以上と19歳未満の両極で多いのが特色である。同様にインターネット利用スキルも「ほとんど使っていない、または設定は他の人にやってもらった」比率が12.2%と昨年の4.9%から増加している。

(矢野さよみ アクセスメディアインターナショナル株式会社)



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)